



魅力のある地域を創造する和歌山

将来像
5

人口減少等が進む中、住民自らが主体的に考え、行政と一体となった地域づくりを推進します。また、コンパクトな都市や暮らしやすい中山間地域づくり、交通ネットワークのさらなる充実を進めるとともに、各地域の自然・歴史・文化を固有の魅力として磨き上げるなど、魅力的な地域を創造する和歌山をめざします。

地域を創る

●都市機能の拠点エリアへの集約や、まちなか居住の誘導など空間の密度を高め、コンパクトな都市に戻しつつ、再開発などで中心部の新陳代謝を盛んにします。●地域での生活を維持していくため、存続が見込めない集落にあっては、住民の意思を尊重しつつ最寄りの生活拠点や周辺集落への移転を促すとともに、効果的・効率的な地域公共交通ネットワークを構築します。



●美しい自然環境と多様な生態系を保全するとともに、人と自然のつながりを後世に受け継ぐための教育・啓発を行い、自然資源の循環を守り続けます。●文化遺産・景観を守り、引き継いでいくために、観光との融合に取り組み、地域の活性化につなげることで保存・保全と活用との好循環を実現します。



活力と魅力のあるまちづくり

●消費者被害を防止するため、消費者教育や相談体制を強化します。



●ごみの発生をできる限り抑え、排出されたごみを可能な限り資源として再生利用する仕組みを強化します。



●大気・水・土壌環境等を保全し、健康被害ゼロを継続します。●下水道、合併処理浄化槽、集落排水施設の整備を進め、生活排水処理の向上に取り組みます。●動物の愛護や適正な管理を進め、犬猫の殺処分ゼロに向けた取組を強化します。

快適な生活環境の実現

●温室効果ガスの排出を削減するため、省エネルギーの取組や、再生可能エネルギーの利用を進めます。

■主な目標
●汚水処理人口普及率 80% (2015年度: 61%)
●温室効果ガス年間排出量 2030年度に1,633万t (2013年度: 2,041万t)

支え合う福祉の充実

●高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。



●施設等への入所を望む高齢者に対応するための施設整備を進めます。

●自宅での生活を望む高齢者に必要な在宅サービスを充実します。●障害のある人が社会を構成する一員として自ら社会活動に参加し、自分らしく生きることができ環境づくりを進めます。



●経済的困窮状態にある家庭の就業、子育て、生活を社会全体で支え、貧困の世代間連鎖を断ち切る取組を進めます。●児童虐待やDV、性暴力の根絶に取り組みます。●保育・介護人材の育成・確保に取り組めます。

■主な目標
●地域包括ケアシステムの構築 全市町村
●特別養護老人ホーム整備数 2030年度に8,100床 (2015年度: 5,919床)

●紀淡海峡ルートの早期実現や紀勢本線へのフリーゲージトレインの導入に向けた取組を推進します。



■主な目標
●高速道路の予定延長に対する供用率 100%
●南紀白浜空港の年間利用者数 15万人 (2015年度: 12万7千人)

計画の推進

- 毎年度、本計画に掲げた目標の進捗状況を確認し、必要に応じ事業の見直しを行うとともに、新たな施策を展開します。
- 市町村や関西広域連合、さらに企業・大学・関係団体・NPO等の多様な主体とも連携・協力します。
- 国に対して、権限の委譲、制度の創設・改正、相応の財源措置等を求めています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。 [和歌山県長期総合計画](#)



将来像
4

暮らしやすさを高める和歌山

良好な生活環境を保ち、3R (リデュース・リユース・リサイクル) や省エネルギー、再生可能エネルギー利用を進めるとともに、福祉サービスを充実し、高齢者や障害のある人が自分らしく暮らし、子どもたちが育った環境に左右されることなく成長できる環境を整備することで、快適で楽しく暮らせる和歌山をめざします。

暮らしやすさを高める